



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,603	12.2	151	554.7	158	—	160	612.3
25年3月期第1四半期	2,319	△6.1	23	—	6	—	22	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 163百万円(584.1%) 25年3月期第1四半期 23百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.68	9.54
25年3月期第1四半期	1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,010	6,379	63.4
25年3月期	9,131	6,340	69.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,348百万円 25年3月期 6,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	22.1	80	—	△110	—	△50	—	△3.02
通期	13,000	16.7	550	56.7	550	27.3	400	△9.9	24.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	22,806,900株	25年3月期	22,806,900株
26年3月期1Q	6,259,410株	25年3月期	6,259,410株
26年3月期1Q	16,547,490株	25年3月期1Q	16,547,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策、金融政策等により円安、株価上昇が進み、実体経済も回復基調にあります。このような経済環境の中、当社グループにおいては、LEDランプの品揃え・拡販、タッチパネル製造装置の開発・販売、更には技術者派遣分野では、積極的M&Aによる事業拡大に尽力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同四半期と比べ2億83百万円(12.2%)増収の26億3百万円となり、営業利益は1億28百万円(554.7%)増の1億51百万円、経常利益は1億51百万円増の1億58百万円、四半期純利益は1億37百万円(612.3%)増の1億60百万円となりました。

なお、今後の業績につきましては、現政権による成長戦略、構造改革等、次の一手を見極めつつ、中国でのタッチパネルを含めたディスプレイ市場の見通しを再検討するとともに、今後期待されるM&Aの業績寄与等を精査中であります。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。なお、各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、プロジェクター市場において、業務用・学校教育用プロジェクター等の需要が堅調に推移し、年初からの円安により利益率は改善しましたが、円安による販売の増加にはプロジェクターの開発時期との兼ね合いで一年程度かかる見通しであり、プロジェクター用ランプの売上高は、前年同期比19.3%減の3億27百万円となりました。一般照明ランプについては、節電意識が根付くとともに、LEDランプの販売も順調に伸びてきており、またハロゲンランプ等従来ランプについても堅調な推移をみせ、前年同期とほぼ同額の3億93百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおいては、前年同期比344.7%増の4億9百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比25.4%増の12億95百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置への投資等、意欲的な投資環境に対応するため、積極的に新装置の開発及び受注に取り組んだことにより、新たな受注を順次獲得しております。

当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比32.7%増の8億42百万円となりました。

③検査装置事業

検査装置事業につきましては、S-L i g h tを積極的に展開、またスマートフォン、タブレット端末用のマクロ検査装置(探傷検査装置)、UV露光装置の受注を順次獲得しております。

当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比80.9%増の4億4百万円となりました。

④人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。スタッフの質的向上、顧客ニーズに合った対応を行い、営業強化を図っており、更なる業容拡大を狙い積極的にM&Aを実施、5月に株式会社関西技研を当社グループに統合いたしました。しかしながら、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比12.0%減の4億10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億28百万円増加し、69億9百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が2億21百万円、仕掛品が1億37百万円、前渡金及び未収入金等を含むその他が3億68百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、31億1百万円となりました。その主な要因は、関係会社株式の取得により、投資その他の資産のその他が1億10百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円増加(9.6%増)し、100億10百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億42百万円増加し、30億83百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金が1億34百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が2億72百万円、未払金及び前受金等を含むその他が7億69百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少し、5億47百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が返済により、56百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億41百万円増加(30.1%増)し、36億31百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加(0.6%増)し、63億79百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を1億32百万円行った一方、四半期純利益の計上が1億60百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ5.8ポイント低下し、63.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって実際の業績とは大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,778	1,853,893
受取手形及び売掛金	2,794,709	2,803,510
商品及び製品	217,280	292,687
仕掛品	876,968	1,014,540
原材料及び貯蔵品	454,398	469,895
その他	114,750	483,573
貸倒引当金	△9,309	△8,510
流動資産合計	6,081,576	6,909,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	880,273	865,259
土地	1,260,686	1,260,686
その他(純額)	461,590	440,327
有形固定資産合計	2,602,550	2,566,273
無形固定資産		
のれん	60,205	45,154
その他	90,547	82,865
無形固定資産合計	150,753	128,019
投資その他の資産		
その他	345,324	455,699
貸倒引当金	△49,107	△48,901
投資その他の資産合計	296,216	406,797
固定資産合計	3,049,520	3,101,090
資産合計	9,131,096	10,010,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	910,521	1,183,110
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	239,400	239,400
未払法人税等	88,737	23,008
賞与引当金	195,131	60,681
製品保証引当金	16,582	13,986
工事損失引当金	35	3,110
その他	490,631	1,260,563
流動負債合計	2,141,038	3,083,861
固定負債		
長期借入金	268,400	212,000
繰延税金負債	193,772	166,252
その他	187,125	169,228
固定負債合計	649,297	547,480
負債合計	2,790,336	3,631,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	3,161,830	3,189,651
自己株式	△1,567,420	△1,567,420
株主資本合計	6,291,455	6,319,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,480	29,631
その他の包括利益累計額合計	26,480	29,631
新株予約権	22,825	30,433
純資産合計	6,340,760	6,379,340
負債純資産合計	9,131,096	10,010,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,319,549	2,603,042
売上原価	1,693,676	1,773,087
売上総利益	625,873	829,955
販売費及び一般管理費	602,737	678,486
営業利益	23,135	151,468
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	3,633	3,680
負ののれん償却額	10,038	10,038
雑収入	4,161	10,209
営業外収益合計	17,848	23,941
営業外費用		
支払利息	4,620	1,837
為替差損	10,990	—
投資有価証券評価損	4,385	—
シンジケートローン手数料	13,000	13,934
雑損失	1,259	1,003
営業外費用合計	34,255	16,775
経常利益	6,729	158,634
税金等調整前四半期純利益	6,729	158,634
法人税、住民税及び事業税	13,539	27,398
法人税等調整額	△29,300	△28,964
法人税等合計	△15,760	△1,565
少数株主損益調整前四半期純利益	22,490	160,200
四半期純利益	22,490	160,200

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,490	160,200
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,387	3,151
その他の包括利益合計	1,387	3,151
四半期包括利益	23,878	163,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,878	163,351
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,031,545	634,648	211,664	441,691	2,319,549	—	2,319,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,173	—	11,713	25,094	38,981	△38,981	—
計	1,033,718	634,648	223,378	466,785	2,358,530	△38,981	2,319,549
セグメント利益又は損失(△)	95,782	△10,016	22,543	6,729	115,039	△91,903	23,135

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△91,903千円には、セグメント間取引消去92千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,996千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,278,615	842,273	87,242	394,911	2,603,042	—	2,603,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,383	—	316,829	15,922	350,135	△350,135	—
計	1,295,998	842,273	404,072	410,833	2,953,178	△350,135	2,603,042
セグメント利益	79,217	118,371	58,916	10,508	267,013	△115,544	151,468

(注) 1 セグメント利益の調整額△115,544千円には、セグメント間取引消去△4,282千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,262千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。